

1 令和4年中の立川市内「防災訓練」実施状況（立川消防署届出分）

実施件数 216件（対前年 +55件）

参加者数 20,812人（対前年 +5,693人）



6/11 防災市民組織の放水訓練



10/22 市民消火隊放水訓練



10/30 消火訓練（市総合防災訓練）

本年は、関東大震災から100年の節目の年です。立川市自治会連合会各支部の防災訓練に際しては、計画段階から消防職員が参画するなど、引き続き地域の防災行動力の向上を図っていきます。

2 令和4年中の立川市内「住まいの防火防災診断」実施状況

実施件数 91件（対前年 +76件）

- ※ 住まいの防火防災診断とは
消防職員が要配慮者のご家庭を訪問し、火災、地震等の災害や家庭内事故による被害の発生危険について聴き取りや確認を行い、必要な防火防災対策に繋げていくものです。
- ※ 立川市地域包括支援センター、民生・児童委員、自治会等の協力を得て推進しています。



立川消防署が実施する「住まいの防火防災診断」は、立川市地域防災計画（令和3年4月修正）の防災・減災計画の施策『消防署と連携した避難行動要支援者の安全確保』（91頁）として位置付けられています。

3 災害時における立川市との連携強化

東京消防庁では、今年度から災害対策調整担当課長を、立川消防署を含む都内22署に新設し、大規模災害発生時を想定した関係機関との連携強化を推進しています。

昨年は、市防災課の協力をいただき、**立川市や消防署が実施する各種訓練等への職員の相互参加や新たな災害情報共有ツールの試行等を行いました。**



4/27 立川消防署水災図上訓練
に市から視察



7/27 立川消防署震災図上訓練
市・署間のZoomによる情報共有



11/28 立川市ワークショップ
図上訓練に消防署から視察